

# 2022年シンポジウム：Well-being—誰からも選び続けられる職場環境を目指して— リハビリテーションスタッフによる職場環境を 考える会の活動を通してWell-beingを考える

坂本 浩樹<sup>†</sup>第76回国立病院総合医学会  
2022年10月7日 於 熊本

IRYO Vol.78 No. 1 (29-34) 2024

## 要旨

「職場環境を考える会」は、平成28年に国立病院理学療法士協議会九州部会、国立病院作業療法士協議会九州部会、国立病院言語聴覚士九州地区協議会で設立された。委員は各協議会の会長と各協議会から選出された者と各専門職である。目的は職場での問題についての啓発活動と職場での問題事案についての情報共有を行うことである。個別の問題を解決するために設置されたものではない。活動は、各部会に属する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を対象にアンケート調査を行うことと職場環境を考える週間を制定し、自分たちの職場環境に関して考える機会を促していることである。

アンケート調査のテーマは「職場環境調査」「働きやすい職場」「職場の良いところ」「理想の上司像について」「あなたの職場は大丈夫?」「理想の部下像、COVID-19による職場環境の変化」「令和4年度アンケート」である。結果は各施設へフィードバックし他者の考えを知る機会になっている。令和元年から「職場環境を考える週間」を制定した。全施設へポスターを配布し、改めて職場環境について再確認する機会とした。

アンケート結果は、職場は働きやすい、職場に満足しているとの回答が多い一方で、時間内に業務が終わらないとの意見も多かった。職場の良いところとして、コミュニケーションが取りやすい、いろいろな経験ができる、環境が整備されているとの回答が多かった。理想の上司像は、人柄が信頼できるが最も多かった。理想の部下像で求められていたのは、職業人としてのマナーがしっかりできているが最も多かった。

誰からも選び続けられる職場環境を目指すためには、組織全体で現状把握・情報共有を行い、課題解決へ向けて取り組むことが大切である。

キーワード 職場環境, 現状把握, 情報共有, 課題解決

国立病院機構南九州病院 リハビリテーション科 †理学療法士  
著者連絡先：坂本浩樹 国立病院機構南九州病院 リハビリテーション科  
〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田1882  
e-mail : sakamoto.hiroki.tu@mail.hosp.go.jp  
(2023年3月10日受付 2023年12月15日受理)

I Think about Well-being through the Activity of the Meeting Thinking about the Work Environment of the Rehabilitation Staff

Hiroki Sakamoto

NHO Minamikyushu Hospital

(Received Mar. 10, 2023, Accepted Dec. 15, 2023)

Key Words : work environment, grasping the current situation, information sharing, problem-solving